

気をつけて共有する

オンラインで自分自身、自分の情報、自分のプライバシーを守る

レッスンの概要

レッスン 1	共有してはいけないとき	小学	2～6年
レッスン 2	プライバシーを守る	小学	2～6年
レッスン 3	そんなつもりじゃない	ML 小学	2～6年
レッスン 4	フレームを使おう	ML 小学	2～6年
レッスン 5	この人はどんな人?	小学	2～6年
レッスン 6	人から見た自分	小学	2～6年
レッスン 7	Interland: 用心の山	小学	2～6年

テーマ

教師と保護者は、デジタルの誤った利用が人の感情を傷つけ、評判やプライバシーを損なう危険性があることを理解しています。しかし子どもは、その時点では無害に見える投稿でも、今後誤解される可能性があることを理解するのが難しい場合があります。また、想像していなかった人にその投稿が見られることもあります。

このアクティビティでは、具体的な例と思考を促すディスカッションを通じて、ポジティブなオンライン プレゼンスを維持し、プライバシーを守る方法を児童に教えます。

児童が目指す目標

- ✓ オンラインとオフラインでポジティブな評判を**獲得して維持する**。
- ✓ 他の人のプライバシーの境界を**尊重する**（自分の境界と違う場合でも）。
- ✓ デジタル フットプリントを不適切に管理した場合に考えられる影響を**理解する**。
- ✓ 困難な状況に対処するときは大人に助けを**求める**。

対応している標準

教師向け ISTE 標準: 1a、1b、2a、2c、3b、3c、3d、4b、4d、5a、6a、6b、6d、7a
 児童向け ISTE 標準: 1c、1d、2a、2b、2d、3b、3d
 AASL 学習標準: I.a.1、I.b.1、I.c.1、I.d.3、I.d.4、II.a.2、II.b.1、II.b.2、II.b.3、II.c.1、II.c.2、II.d.2、III.a.1、III.a.2、III.a.3、III.b.1、III.c.1、III.c.2、III.d.1、III.d.2、IV.a.1、IV.a.2、V.a.2、VI.a.1、VI.a.2、VI.a.3

気をつけて共有する用語集

レッスン1、2

オンラインのプライバシー：広い意味を表す言葉です。通常は、オンラインで共有する自分についての情報と、それを閲覧、共有できるユーザーを管理する能力を意味します。

個人情報：名前、住所、電話番号、マイナンバー、メールアドレスなど、個人を特定できる情報を個人情報（または機密情報）と呼びます。このような情報をオンラインで共有しないよう、自身のルールを作ることをおすすめします。

評判：他の人があなたについて持っている考え、意見、印象、所感のことです。これらを完全に理解することはできませんが、通常はポジティブまたは良い内容であることが望まれます。

レッスン3

符号：単語またはフレーズ、画像（ロゴや絵文字など）、特定の意味やメッセージを表す記号のことです。特定の人だけが理解できる秘密の符号もあります。多くの場合、ほぼすべての人が理解できる内容を表す記号を指します。

コンテキスト：メッセージに関連する情報、または私たちが目にする、メッセージの理解を助ける任意の情報のことです。

コンテキストには、メッセージが表示される場所やタイミング、メッセージを送信したユーザーなどが含まれる場合があります。

解釈：人がメッセージを理解する方法、または人がメッセージから得る意味のことです。

表現：もの、人、グループについて多くの情報を伝える（またはそれらに関する真実を表す）写真、記号、説明のことです。

レッスン4

フレーム：風景、人物、物体の写真や動画を撮るときに、他の人が見ることができる範囲を定義するものです。フレームの外側の部分は他の人には見えません。

レッスン5、6

想定：人物または物事について、あなたや他の人が真実であると考えた内容のことです（ただし真実であるという証拠はありません）。

キュレート：自分がオンラインで投稿するもの（テキスト、写真、音声、イラスト、動画）を決める際に、それらを見る人に与える影響や、それらの人々から自分がどう思われるかを考慮しながら、投稿する内容を編集して提示することです。

デジタル フットプリント（デジタル プレゼンス）：デジタル フットプリントとは、オンラインで参照できるあなたについてのすべての情報のことです。写真、音声、動画、テキストに加え、友だちの投稿に対するあなたの「高評価」やコメントなど、あらゆるものが含まれます。歩くと地面に足跡が残るように、オンラインで投稿した場合も痕跡が残ります。

事実：真実であると証明された（または証明可能な）情報のことです。

意見：人物や物事について、あなたや他の人が考えていることです（こうした考えは証明できるものではないため、必ずしも事実とは限りません）。

レッスン7

過剰な共有：オンラインで過剰に共有することです。通常は、オンラインでの特定の状況や会話において個人情報を共有することや、自分についての情報を共有し過ぎることを意味します。

気をつけて共有する：レッスン1

共有してはいけないとき

児童がペアになって「うその秘密」を比較し、プライバシーゾーンについて考えるきっかけにします。

このレッスンについて：あらゆる年齢を対象とした、インターネットでのプライバシーに関する基礎的なレッスンです。一度共有した情報は完全に削除するのがほぼ不可能である理由、共有する情報を閲覧できるユーザーを制御する方法、共有する情報が存在し続ける期間についての説明が含まれます。まず使用するテクノロジーを児童に尋ねてから、アクティビティ内でそのメディアやデバイスに言及することをおすすめします。教師がアプリの使用に慣れていなくても問題ありません。児童に頼めば喜んで助けてくれるでしょう。

児童が目指す目標



- ✓ 公開してはいけない個人情報の種類とその理由を**理解する**。
- ✓ あらゆる人のプライバシーに関する決定を尊重すべきだということを**覚えておく**。

説明する内容



プライバシーが重要である理由

インターネットによって、家族や友達など、あらゆる人と簡単にコミュニケーションをとることができます。私たちは、メッセージの送信、写真の共有、チャットやライブ配信への参加などを行いますが、そのときにリアルタイムで、または後から誰かが閲覧できることを意識していないこともあります。楽しくて無害に思える写真や投稿でも、想定外の人がそれを見て誤解することもあります。そのようなことは、その場で起こることも、後から起こることもあります。気持ちが傷つけられることもあります。冗談を理解しない人が、あなたのことを知らないために、あなたが意地悪な人間であると思う可能性もあります。一度オンラインで公開されたものは完全に削除するのが難しく、誰かがコピーしたり、スクリーンショットを撮ったり、共有したりする可能性があります。次の点に注意してください。

- あなたが投稿または共有する情報は、あなたが会うことのない人に見られる可能性があります。
- あなたに関する情報が一度オンラインで公開されると、誰かがスクリーンショットを撮って共有しただけでも、インターネット上に永久に残る可能性があります。これは、ずっと残る印のようなもので、消すことは本当に困難です。
- オンラインで公開された多くの消せない情報を集めてまとめると、それがあなたの評判、つまり他の人から見たあなたの姿になります。そのため、自分が共有する情報はできる限り制御する必要があります。

プライバシーが重要なのはそのためです。プライバシーを保護するには、限定公開で投稿するか、本当に共有したい情報だけを共有します。つまり、オンラインでの自分の発言、投稿、共有内容について慎重を期する必要があります。

また、投稿をまったく行わないほうが良い状況を理解することも重要です。そのようなときは、たとえ冗談でも真実でない可能性がある誰かの投稿、写真、コメントには反応せず、過剰な共有（共有し過ぎること）や個人情報の投稿は行わないようにします。「よく考えてから投稿しましょう」という言葉を聞いたことがあるかもしれませんが、実際にこれは良いアドバイスです。自分と他の人のプライバシーを尊重するには、投稿してよい内容、自分の投稿を読む可能性がある人、投稿による自分や他の人への影響（すぐに発生する影響や、数年後に発生する影響など）、まったく何も投稿しない状況について考えることです。

[次ページに続く →](#)

以下に、さらに詳しく話し合うための質問を示します（これらの質問は自宅で家族とフォローアップの話し合いをするために使用することもできます）。

- ・氏名、住所、電話番号、その他の個人情報をオンラインで投稿してはいけないのはなぜですか。
- ・他の人の写真や動画を共有してもよいのはどのような場合ですか。
- ・他の人の秘密やプライベートな情報について投稿してもよいですか。それはなぜですか。冗談だと思った場合はどうしますか。
- ・あなたの大切な人が、自身に危険が及ぶかもしれないプライベートな情報を投稿した場合、あなたはそれを共有しますか。危険が及ぶ懸念がある場合、あなたの懸念をその人に伝えるべきですか。その人のことを大切に思っている大人にあなたから懸念を伝える場合、そのことを本人にも伝える必要はありますか。

アクティビティ



1. 秘密を作る

本当の秘密ではなく、うその秘密を作ってください。

2. パートナーに伝える

秘密を作ったら、全員が誰かとペアになってパートナーと秘密を共有してください。その後、次の3つに質問について話し合います。

- ・この秘密を誰かと共有しますか。
- ・自分の秘密を誰と共有しますか。それはなぜですか。
- ・誰かがあなたの許可を得ずに全員にあなたの秘密を話したら、どのように感じますか。

3. クラスに伝える

最後に各児童が、自分の「うその秘密」をクラス全体に伝え、秘密を共有することについてどのように感じたかを説明します。前述の質問に対する答えについて、クラスで話し合うこともできます。

重要なポイント

秘密は、オンラインで限定公開にする（または信頼できる家族や友だちだけと共有する）一種の個人情報です。共有した秘密がどのように扱われるかを自分で制御することはできません。「よく考えてから投稿しましょう」と言われるのはそのためです（これは正しいアドバイスです）。オンラインで投稿すべきでない情報には、次のようなものがあります。

- ・自宅の住所、電話番号
- ・メールアドレス
- ・パスワード
- ・氏名
- ・学年、勉強の内容

気をつけて共有する：レッスン2

ひみつにしておく

下の5つのシナリオをクラスで確認し、各シナリオについてプライバシー面での最適な解決策がどのようなものになるかを話し合います。

児童が目指す目標



- ✓ プライバシー上の懸念事項について他の人々の視点で考える方法を分析する。
- ✓ シナリオごとに必要となるプライバシーのレベルを理解する。

説明する内容



プライバシーのシナリオ：必要な対応

以下のシナリオを読んで詳細を確認してください。

アクティビティ



5つのシナリオを確認し、それぞれのシナリオでのプライバシー面での解決策について話し合います。4つのグループに分かれ、グループごとに1つのシナリオについて話し合います。その後、得られた知見についてクラスで話し合います。

用意するもの：

- ・教師向けの概要：
「ひみつにしておく」

シナリオ

シナリオ 1: ある人がA君に「ときどきスマートフォンでパスワードやパスコードを変更するといいよ」と言いました。そこでA君は、好きなゲームのパスワードを変更することにしました。A君の親友であるB君もそのゲームが好きですが、自分のアカウントを持っていません。そのためB君はA君のアカウントでプレイすることにして、A君は新しいパスワードをB君と共有しました。

- ・A君がパスワードを変更したのは適切でしたか。
- ・A君がB君とパスワードを共有したのは適切でしたか。それはなぜですか。

A君が同じパスワードをソーシャルメディアのアカウントでも使用したらどうなりますか。同じ答えになりますか。

A君が高校生になり、別の友だちと遊ぶ場合も同じ答えになりますか。

シナリオ 2: ある人が日記をつけています。この人の家に友だちが遊びにきました。その友だちは日記を見つけ、日記の一部をオンラインで投稿したら楽しい冗談になるだろうと考えました。

- ・友だちがオンラインでその情報を投稿するのは適切でしたか。これは楽しいことでしょうか。それはなぜですか。
- ・他人に見られたくないものをこのように公開されたら、どのように感じますか。

次ページに続く →

シナリオ 3: ある人が友達のソーシャル メディア ページに、「楽しい休暇を」と投稿しました。

- その友達は休暇を取ることを公にしていたでしょうか。世界中の人にそのことを知られてもよいと思っていたでしょうか（**世界中の人**のことまでは意識していなかったかもしれませんが）。
- このメッセージをより限定的な範囲の人に伝える方法はありますか。

シナリオ 4: あなたは、ある児童が偽のソーシャル メディア アカウントを作成して別の児童になりすまし、その児童を悪く見せようとしていることを知りました。投稿される内容には個人情報も含まれています。

- なりすましの被害を受けている児童には、そのことを知る権利があるでしょうか。また、あなたは被害者である児童にこのことを伝えますか。
- 他の児童は犯人を知りませんが、あなたは知っています。犯人に投稿を非公開にするよう伝える必要はありますか。
- 教師や信頼できる大人に伝える必要はありますか。
- 上記の対応を誰も行わなかった場合、どのようなことが起こる可能性がありますか。

シナリオ 5: あなたの家では、複数の子どもが母親のタブレットを交代で使用していて、全員がパスコードを知っています。また、あるウェブサイトでのオンライン ショッピングには、家族全員で1つのアカウントを使用しています。これまで問題はありませんでした。ある日、あなたのお兄さんが友だちを連れてきました。お兄さんとその友だちは母親のタブレットを使い、そのショッピングサイトでゲーム用のヘッドフォンを閲覧していました。お兄さんは台所にお菓子を取りにいき、その後、友だちと一緒に外に出てバスケットボールをしました。数日後、家に荷物が届きました。

その中にはヘッドフォンが入っていました。お兄さんは、自分が注文したのではないと言っています。あなたはお兄さんを信じています。

- 両親はそのヘッドフォンがなぜ家に届いたのか不思議に思うでしょう。あなたとお兄さんはどうしますか。
- パスワードについてはどうでしょう。家族用のデバイスとアカウントで、家族全員で同じパスワードを使用しており、友だちがそのデバイスとアカウントを使用できる状態になっていることについて、問題があると思いますか。そのことについて、家族に伝えますか。

重要なポイント

オンラインでもオフラインでも、状況に応じて必要な対応は異なります。他の人のプライバシーについての選択は、それがあなたの選択と違っていたとしても常に尊重することが重要です。

教師向けの概要：レッスン2

プライバシーを守る

教師向けの注意事項：このシートは、このレッスンでの話し合いの進行をサポートするためのものであり、児童に配布するものではありません。児童の正しい対応や最適な対応をボードに書いて話し合ってください。

シナリオ 1

- **A 君がパスワードを変更したのは適切でしたか。**

はい。デバイスやサービスごとに異なるパスワードを使用して年に1回以上変更することは、プライバシー面での基本的な対応として優れています。

- **A 君が B 君とパスワードを共有したのは適切でしたか。それはなぜですか。**

いいえ。子どもが友だちとパスワードを共有することは多々あります。これはオンラインでのプライバシーやセキュリティに関する行動として適切ではありません。子どもはその点を学習し、この行動が適切でない理由を理解する必要があります。子どもに、「今、信頼できる大人以外の人でもあなたのパスワードを使っているとします。もうその人にはパスワードを使ってほしくないと思うのはどのようなときですか」と質問してみてください。次のような例が考えられます。

- 友だちとの関係が悪くなったり、誰かがあなたに対して怒っていたりすることがあります。あなたに対して怒っている人が、あなたのパスワードを他の人と共有できるのは望ましいことでしょうか。

- 友だちがあなたのスマートフォンのパスコードを知っていて、その友だちがログインしてあなたになりすまし、共通の知り合いについて、冗談だとしても変なことや意地悪なことを言ったらどうなるでしょうか。あなたがそう言っているように見えるでしょう。

- 引越してしまった人と自分のパスワードを共有していたらどうなるでしょう。その人があなたのアカウントにアクセスしてプライベートな情報にいつまでもアクセスできるのは望ましいことでしょうか。

- ゲームをしているときに、他のプレイヤーがあなたのアカウントでプレイするためにログイン情報を尋ねてきたらどうしますか。相手が友だちの場合、ログイン情報を教えますか。あなたがそのゲームで何ができるか考えてください。友だちがあなたのアカウントを使用すると、あなたと同じ操作ができる状態になります。これは適切でしょうか。来週になっても来年になってもその状況が続くことは適切でしょうか。

- **同様に、A 君がソーシャルメディアのアカウントのパスワードを他の人と共有したらどうなりますか。同じ答えになりますか。A 君が高校生になり、別の友だちと遊ぶ場合も同じ答えになりますか。**

- はい、同じ答えになります。どのようなアカウントでも、友だちに（たとえ親友でも）パスワードを教えることは適切ではありません。上記の1つ目のポイントで説明したように、友だちとの関係は変化します。以前は友だちだった人が友だちではなくなることもあります。あなたのことを大切に思っていない人に、自分のアカウントやプロフィールを見られたくないでしょう。そのような相手があなたの情報を編集できる状態になれば、あなたのことを悪く見せたり、あなたが他人の悪口を言っているように見せたりすることができます。

シナリオ 2

- **友だちがその情報をオンラインで投稿したのは適切でしょうか。これは楽しいことでしょうか。それはなぜですか。**

「楽しいものを共有すれば楽しい」と言う児童もいるかもしれませんが。少し掘り下げるために、そのような児童に次の質問をしてみましょう。

- **他人に見られたくないものをこのように公開されたら、どのように感じますか。**

[次ページに続く →](#)

シナリオ 3

- **その友だちは休暇を取ることを公にしていたでしょうか。**
話し合いを進めるために、ここでは答えが「はい」だとしてクラスに質問しましょう。
- **世界中の人にそのことを知られてもよいと思っていたでしょうか。**
いいえ（おそらく）。
- **なぜでしょうか。**
妥当な答えとして、「家族が居場所を知られたくないと思っている」、「自宅を留守にするときのセキュリティについて心配している」などが考えられます。
- **このメッセージをより限定的な範囲の人に伝える方法はありますか。**
プライベートなメッセージやテキストメッセージを送信する、電話をかけるなど、適切な答えが見つかるでしょう。

シナリオ 4

- **なりすましの被害を受けている児童には、そのことを知る権利があるでしょうか。また、あなたは被害者である児童にこのことを伝えますか。**
最初の質問については自分自身の答えがあるでしょう。しかし、児童の答えを聞いてそれについて話し合うことも興味深いかもしれません。児童が被害者に伝えるかどうか、その際に何を伝えるかについて聞いてみましょう。
- **他の児童は犯人を知りませんが、あなたは知っています。犯人に投稿を非公開にするよう伝える必要はありますか。**
攻撃者と向き合うことに不安を感じる人もいますが、それは自然なことです。攻撃者と向き合う際に落ち着いていられる人はいるか、そしてその理由をクラスに尋ねてください。話し合いは続くでしょうか。
- **誰かが教師または信頼できる大人に伝える必要はありますか。**
はい。誰も攻撃者にやめるように言わない場合、または誰かが言ってもアカウントがそのまま使用される場合は、信頼できる大人に伝える必要があります。
自分以外の児童が被害（辱め、社会的排除、ハラスメント、いじめなど）にあわないよう保護することが重要です。このことを児童が理解できるようにサポートしてください。これは「告げ口」ではありません。誰かが他の人に迷惑をかけることを防止するという意図で行うことが重要です。
- **上記の対応を誰も行わなかった場合、どのようなことが起こる可能性がありますか。**
誰かが被害にあっている状態が続きます。
これは、他の人に対して思いやりを持つこととそれが重要である理由についてクラスで話し合う際に、良い説明のポイントになります。この点については「Be Internet Kind」のセクションでさらに詳しく説明します。

シナリオ 5

- **両親はそのヘッドフォンがなぜ家に届いたのか不思議に思うでしょう。あなたとお兄さんはどうしますか。**
児童は反射的に正しいことと正しくないことに焦点を置くかもしれませんが、これは問題ありません。その点について簡単に話し合い、意見が一致するポイントがあるかどうかを確認しましょう。
- **パスワードについてはどうでしょう。家族用のデバイスとアカウントで家族全員が同じパスワードを使用していることのリスクについて説明してください。**
多くの家族がこのようにしています。児童が次の点について、児童が声に出しながら考えられるかどうかを確認します。(1) 友だちがやって来たときの家族用パスワードの保護、(2) 友だちなど、家族以外の人に家族用のパスワードを教えないことが重要である理由、(3) 家族のアカウントで友だちが何かを購入すること以外に考えられる問題。

気をつけて共有する：レッスン3

そんなつもりじゃない

児童は絵文字のみを使用してTシャツを作成し、自分自身を表現します。このプロセスを通して、同じメッセージでも異なる意味に解釈される可能性があることを学びます。

メディアリテラシーの背景知識（教師向け）：企業のロゴ、スポーツチーム、学校、ミュージシャン、政治家などが描かれたTシャツを着ることは、看板を付けて歩いているようなものです。このアクティビティでは、Tシャツが直接的なコミュニケーション手段であると同時にメディアでもあることを説明します。また、「メディアは画面の中だけにあるものではない」ということを児童が理解できるようにします。

生徒が目指す目標



- ✓ 「他の人はこのメッセージをどのように解釈するか」と考えることの重要性を理解する。
- ✓ 人がコミュニケーションに使用する多くの視覚的手がかりについて認識を高める。
- ✓ オンラインでもTシャツでも、何かを共有するとメディアになるということを確認する。
- ✓ 「コンテキスト」と「表現」の意味を学習する。

説明する内容



今までにオンラインで自分の発言、行動、記述、投稿の内容を誤解されたことがある人はいますか。相手が怒ったり悲しんだりして、「そんなつもりではなかった」という説明が必要になったことはありますか。

私たちはコミュニケーションの際に、自分では自分の意図を理解していますが、特に同じ場所にはいない場合は、相手がこちらの意図を理解してくれるとは限りません。このようなことが起こるのは、人それぞれの経験が画像や言葉の解釈に影響を与えるからです。

誤解が生じていることに気づかずに多くのメッセージを伝えると、混乱はさらに大きくなります。私たちは、服装、髪型、歩き方、手を使ったジェスチャーなどで、自分のことを説明し、相手のことを判断します。これは「表現」と呼ばれます。写真、記号、スタイル、言葉を使って、もの、人、グループについての情報を表します。

以下に例を示します。あなたはオンラインで、あるチームのロゴが入ったスポーツジャージを着ている人の画像を見ました。あなたはおそらく、この人がそのチームのファンであると考えてでしょう。実際、その可能性は高いです。これは、ほとんどの人がスポーツ用ジャージのデザインを認識しているためです。私たちはそれがスポーツの「符号」であることを知っています。そのため、ロゴのチームのことを知らなくても、おそらくスポーツチームだろうということがわかるのです。

しかし、頭の上にチーズのかたまりを乗せた人の写真を見た場合はどうでしょう。その人についてどう思うのでしょうか。ウィスコンシン州に住んでいる人か、アメフトのファンの人なら、その「チーズヘッド」がアメフトチーム「グリーンベイパッカーズ」のファンのニックネームだとわかるでしょう。その写真の人物は、チーズのような帽子によってパッカーズファンであることを示しています。

パッカーズファンの「符号」を知らない場合は、チーズの帽子がハロウィンの衣装であるか、その人を単純に変人だと考えるかもしれません。異様なのでコメントしたくなることもある

[次ページに続く →](#)

でしょう。その場合、パッカーズ ファンを怒らせてしまう可能性があります。ファンからするとあなたのコメントは失礼であり、ファンはあなたにひどいコメントを返そうとするかもしれません。そうすると今度はあなたが怒ることになり、お互いにネガティブなコメントで気持ちを傷つけ合うこととなります。

では、オンラインで投稿する際に、他の人に自分の意図を確実に理解してもらうにはどうすればよいでしょうか。一つの方法は、自分が単にメッセージを伝えたり楽しんだりしているのではなく、メディアクリエイターであると考えことです。オンラインでのプロフィールの作成、テキストメッセージの送信、ゲームのチャットでのコメント投稿、写真の共有などを行うたびに、自分がメディアを作っていると考えのです。優れたメディアクリエイターのように、投稿する前に一度立ち止まって「他の人は私のメッセージをどう受け取るだろうか」と自問し、作成して共有するメディアについてよく考えます。

アクティビティ



用意するもの：

- ・配付物：「無地のTシャツ」
(生徒1人につき1枚)
- ・配付物：「絵文字一覧」
(全員が参照できるようにプロジェクターで映すか壁などに掲示する)
- ・絵を描くためのマーカー、色鉛筆、クレヨン
- ・テープ (または歩き回ってTシャツの絵を見せるための方法)

1. 絵文字を使って自分自身を説明する

有能なメディアクリエイターがどのようなものかを考えるために、Tシャツをデザインします。無地のTシャツの型紙を配布して、絵文字だけで自分自身を表現します。絵文字は3つまで使用できます。一覧から絵文字をコピーするか、独自の絵文字を作成します。

2. 見せて説明する

ペアになり、パートナーのTシャツの絵文字が何を表しているかを推測します。推測は正しいでしょうか。それとも、選んだ絵文字の意味をお互いに説明する必要がありますでしょうか。

3. お互いのことを知る

全員が見ることができるよう、室内にすべてのTシャツを提示します。Tシャツと児童を正確に一致させることはできますか。

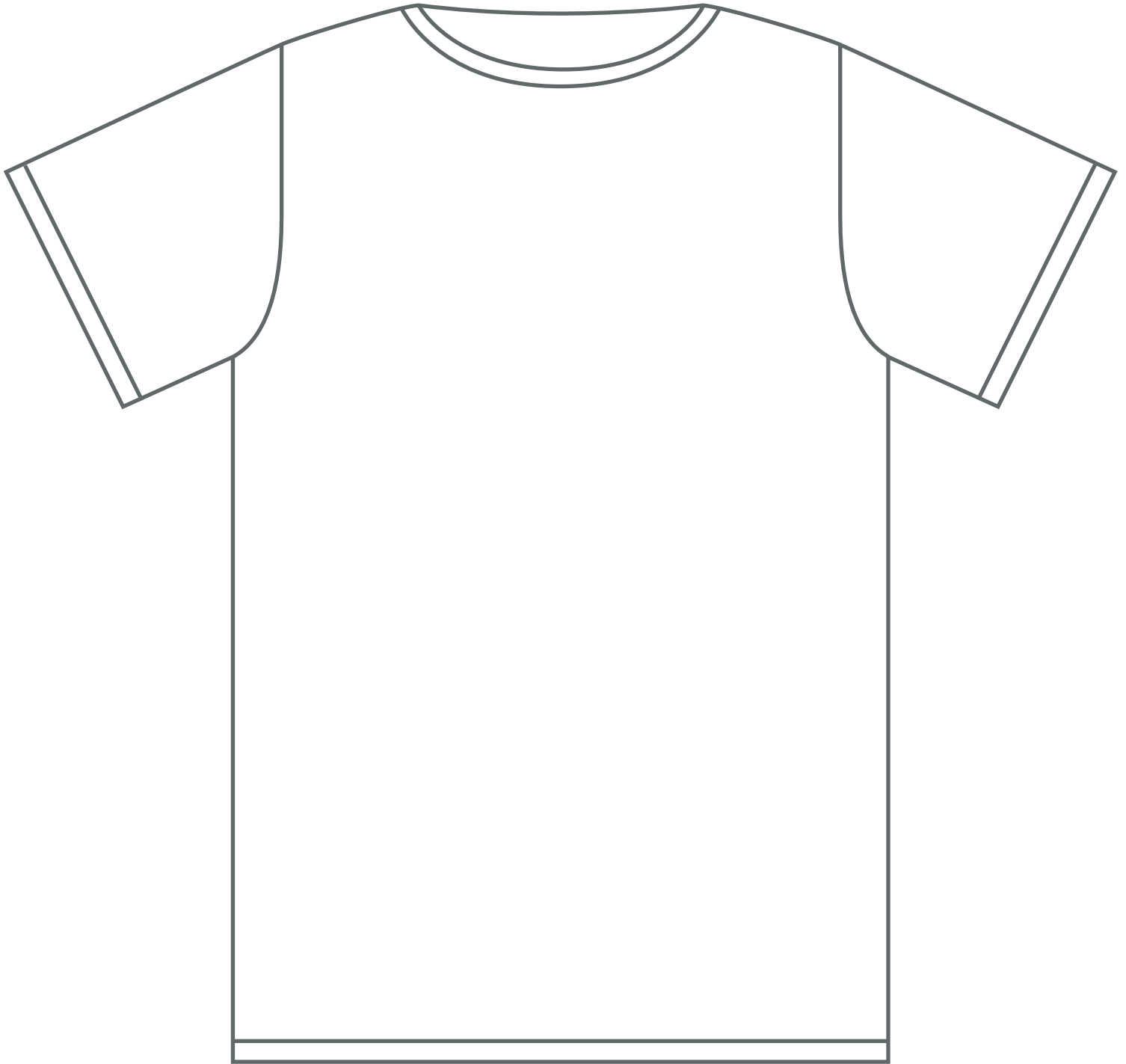
4. クラスで話し合う：

- ・Tシャツとそれを作成したクラスメートを一致させるのが難しかった要因、簡単だった要因は何ですか。Tシャツの記号をクラスメートと結び付けやすかった場合には、どのような特徴がありましたか。多くの人が使用した絵文字はありましたか。1人しか使用しなかった絵文字はありましたか。
- ・各絵文字の意味について、全員が同じ考えでしたか。コンテキストに応じて絵文字の意味はどのように変わりますか。2本の指を伸ばした手の絵文字を見てください。これが平和を表すのか、勝利を表すのか、数字の「2」を表すのかを、どのように判断できますか。火の絵文字についてはどうですか。危険や緊急事態を表しているでしょうか。「燃えている」という意味で、人気があることや成功していることを表しているでしょうか。使われる場所によって、絵文字の意味が変わりますか (たとえば笑顔の絵文字の場合、宿題に使われていたら教師が「よくできました」の意味を表している可能性があり、友達からのメッセージで使われていたら、楽しい気持ちやジョークを意味する可能性があります)。別の絵文字と一緒に使われることで、意味が変わることはあるでしょうか。

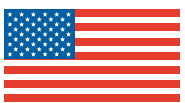
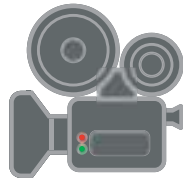
このレッスンから学ぶこと

メディアクリエイターになったつもりで、オンラインでメッセージや写真を投稿する前に一度立ち止まり、「他の人はこれをどのように解釈するだろうか。私の意図を理解してもらえるだろうか」と自問しましょう。読み手が誤った解釈をする可能性はあるでしょうか。投稿やコメントをする前に、「私は相手の意図を理解しているだろうか。なぜそう言えるのだろうか」と、自分に対しても同じ質問をする必要があります。

プリント：レッスン3
無地のTシャツ



プリント：レッスン3
絵文字一覧



気をつけて共有する：レッスン4 フレームを使おう

メディア リテラシーの背景知識 (教師向け)：メディアは作成者の選択によって作られます。最も基本的なことは、何を含め、何を含めないかという選択です。このレッスンでは、児童がオンラインで共有する内容を決める際に、自身をメディア作成者だと考えられるように支援します。

児童が目指す目標



- ✓ 自分をメディア クリエイターとして**可視化する**。
- ✓ フレームに含めるものと含めないものに関するメディア作成者の選択について**理解する**。
- ✓ フレームのコンセプトを**使用**して、可視化して公開する内容と、可視化せずに保護する内容の違いを理解する。

説明する内容



ビジュアル メディアの作成者は、フレームを使うことで共有する情報の内容を制御します。作成者はフレームに含める（他のユーザーが参照できる）情報と、フレームに含めない（他のユーザーが参照できない）情報を決めます。

アクティビティ



用意するもの：

- ・番号が付いたカードとハサミ
(児童ごとに1セット)
- ・配付物：「フレームの中には何がある?」、または画像が映っている画面かスマートボード

クラスで以下の各アクティビティを実施して話し合います。

1. フレーム

メディアのあらゆる要素は、メディア作成者の一連の選択によって作られます。「何を含めるか」と「何を含めないか」はどちらも重要な選択です。写真や動画を撮影する際に、「含めるもの」と「含めないもの」はフレームで分離されます。

この仕組みを確認するために、番号が付いたカードの中心を長方形に切り取り、独自のフレームを作成してください。

腕を伸ばした状態でフレームを持ち、ゆっくり顔のほうに近づけて顔の後ろまで動かしてください（カメラのズーム機能で試すこともできます）。フレーム内で見えるものについて、どのようなことに気が付きましたか。左右に動かすとどうなりますか。一部のクラスメートしか見えないようにフレームを維持することはできますか。また、壁の一部分のみが見えて、それ以外のものは見えないようにすることはできますか。

フレームを制御しているときのあなたはメディア作成者です。あなたは含めるものと含めないものを選択できます。フレームに含めないことにしたのも、実際にはその後も存在します。しかし、あなたが作成したメディアの視聴者はそれを見ることができません。

2. 含めるか含めないか

プリントの1Aの絵を見てください。これは何だと思えますか。なぜそう思えますか。次に1Bを見てください。追加された情報からどのようなことがわかりますか。

2A の絵でもう一度試してみましょう。何の影だと思いますか。なぜそう思いますか。
2B には情報が追加されています。推測は当たっていましたか。

3. 情報が多すぎる

追加の情報が常に役に立つとは限りません。場合によっては追加の情報が邪魔になり、小さなフレームの画像を楽しんだり理解したりするのが難しくなることがあります。プリントの3つ目の例を見てください。

何かの作成過程を見るのは楽しいこともありますが、映画やテレビ番組、動画を視聴する際に、毎回小さなフレームだけではなく、カメラ、マイク、制作スタッフ、セットの端まで、すべてが見えるとどうなるでしょう。いつもどおりにストーリーを楽しめるでしょうか。

4. 決めるのは自分

オンラインで何かを共有することは、あなたがメディアを作るということです。映画や動画、テレビ番組のプロデューサーのように、視聴者が見るものをあなたが決めることができます。つまり、フレーム内に含まれるもの、フレーム外にあって見えないものを決定できるのです。

重要なポイント

メディア作成者であるあなたは、オンラインで共有する情報に対して「フレーム」を設定し、他の人に見せたいものだけを見せることができます。

フレームの中には何がある？



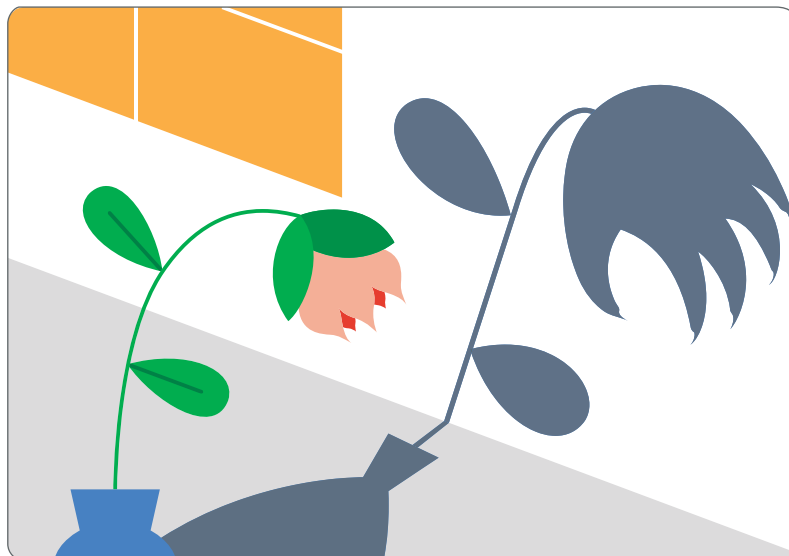
1A



1B



2A



2B



3A



3B

気をつけて共有する：レッスン5

この人はどんな人？

このレッスンでは例を使って、「デジタル フットプリント」が実際にどのようなものであるかについて説明します。児童は架空の人物についての個人情報（キャラクターのフットプリントの一部）を調べ、この人物に関する情報を推測します。

児童が目指す目標



- ✓ オンラインで人物についての情報を見つける方法を把握する。
- ✓ 人がオンラインで情報を投稿して、それがデジタル フットプリントの一部になる場合に、投稿者がどのように判断されるかを考える。
- ✓ 情報の正確さを判断し、推測、意見、事実の違いを理解する。

説明する内容



自分が知っていること（知っていると思っていること）はどのように認識されるのか

インターネットでは多くの個人情報が見つかります。その中には、その情報が真実ではないと考えたり推測したりするきっかけになるものもあります。次の質問について考えてください。

- ・ある人の個人情報、またはその人が投稿した内容から、その人について何がわかりますか。
- ・個人情報から推測できることは何ですか（それが本当かどうかはわからないとしても）。
- ・そもそも、その情報がどのように収集されたのかを理解していますか。情報源を特定するにはどうすればよいですか。

アクティビティ



用意するもの：

- ・ワークシート：「この人はどんな人？」（生徒1人につき1つ）

小学2～3年生向けの変更点（必要に応じて）：小学2年生または3年生がメディアの「デジタル フットプリント」についての説明を理解できると判断した場合は、「教師が行い、クラスで行い、児童が行う」の戦略を使用することを検討してください（まずは、ワークシートの最初の例を教師が示し、クラスで2つ目の例を、各児童が3つ目の例を考えます。その後、クラスで話し合います）。

1. 人について調べる

全員にひろこさん、ともみさん、まさるさん（または児童が作成する架空のキャラクター）に関する一連の情報を読んでもらいます。

2. 説明を書く

グループに分かれ、それぞれ1人のキャラクターを取り上げます。各グループで、「この人は誰だと思えますか」という質問の答えとなるような、その人物についての簡単な説明を作成します。

3. 説明を読む

各グループは、自分のグループのキャラクターについて考えた説明を読みます。

4. 真実を発表する

キャラクターについての真実を発表します。その真実と、投稿から考えた内容を比較します。

- **ひろこさん**は高校生です。来年、彼女は大学に入学します。化学工学を学んで、最終的には自分で会社を始めたいと思っています。家族を大切にしている、ボランティア、ポップカルチャー、ファッションに関心があります。
- **ともみさん**は高校のソフトボールチームの先発投手です。彼女は15歳で横浜に住んでおり、8歳の妹がいます。好きなことは、野球、アートの勉強、ギターを弾くこと、友達と遊ぶことです。
- **まさるさん**は14歳です。彼はサッカーチームに入ったばかりです。また、2匹の猫を飼っています。スケッチが得意で、週末はロボットを作って過ごすのが好きです。所属しているサッカーチームを大切に考えており、テクノロジー、動物、動物愛護に興味があります。

5. 話し合う

キャラクターについてのあなたの説明は、事実とどのくらい近かったですか。そのような説明になったのはなぜですか。あなたの説明は意見、推測、事実のうちのどれですか。また、その理由を説明してください。このレッスンから何を学びましたか。

重要なポイント

他の人の投稿、コメント、写真、動画を見たり聞いたりしたとき、私たちはそれらが必ずしも正しいわけではないと推測します（知らない内容である場合は特に）。これは、私たちがオンラインで見ている情報や、ある特定のタイミングで見ている情報は、対象の人物やその人が関心を持っているものの一部にすぎないからです。また、その人が特定の状態を演じている、またはそれを投稿した瞬間にだけ感じた内容である可能性もあります。個人的にその人のことを知るまで、その人の実際の姿や本当の考えを知ることはできません。また、個人的に知っている場合でも、本当のことを知るのには時間がかかります。


ワークシート：レッスン5

この人はどんな人？


下にあるそれぞれの人のオンラインでのコメントを読んでください。これらの情報から、この人がどのような人物だと思うか簡単な説明を記入してください。それぞれの人が好きなこと、きれいなこと、関心のあることは何ですか。


ひろこさん

ダンスのときの海の中の写真
みんな楽しそう。

 にきびをやっつける方法

弟のおさむはうるさすぎる。
彼は宇宙人かもしれない。

 スピード違反の切符


 横浜大学での若手化学者の
会議（かいぎ）


やっと新しいスパイ戦争（せんそう）の
映画を見た。めちゃくちゃおもしろかつた。

ともみさん


試合に勝った。あと1試合で決勝。
もっと投球の練習をしないと。

学校のダンスはきれい。#行かない

 横浜自然史博物館（神奈川県）

 ゴールデンバースデーの
ために東京へ。きれない!

近所の公園でお父さんとキャッチボール
の予定。楽しみ


 街の中心部にあるみなと
みらい

まさるさん

 バーニーズ バーガー ショップ

決勝点を決められなかった。残念
なんとか同点。

 子犬の写真 25 枚

 川西高校ダンス パー
ティー（2年生）

ぼくの友達のウェブサイトをチェックして
みて。ぼくがコードをたくさん書いたよ。

新記録! やったあ。gem jam は最高。

気をつけて共有する：レッスン6

人から見た自分

児童は、さまざまな人（保護者、雇用主、友だち、警察官）が、前のレッスンのキャラクターをどのように認識するかを調べます。また、各キャラクターのどのようなデジタル フットプリントがその人の特徴を表しているかについても調べます。

児童が目指す目標



- ✓ オンラインで情報を共有するかどうかを判断する際に、他の人の視点を理解する。
- ✓ 個人情報を公開するとどうなるのか（共有した情報があなたのデジタル フットプリントの一部になり、長期間オンラインに残る可能性がある）について考慮する。
- ✓ 他の人がオンラインで投稿した情報をキュレートすることの意味と、投稿内容とその人のデジタル フットプリントとの関係について考えるようにする。

説明する内容



新しい視点

あなたのデジタル フットプリントに含まれる情報によって、あなたが意図するより多くの内容（または異なる内容）が他の人に伝わる可能性があります。それがどのような結果になるかを確認します。

キャラクターを1人選び、その人になったつもりでコメントを投稿したとします。

その人の視点で考えてみましょう。

- あなたのキャラクターは、他の人に個人情報をすべて知られたいと思うのでしょうか。それはなぜですか。あなたのキャラクターは、どのような人に個人情報を見てもらいたい（または見られたくない）と考えるのでしょうか。
- この情報は他の人にどのように見られると思いますか。
- この情報は他の人にどのように使用されると思いますか。

状況が変わると、求められるプライバシーのレベルも変わります。あなたが投稿する内容を他の人がどう認識するかを考えることは、オンラインのプライバシーに関して適切な習慣を身に付ける鍵となります。

アクティビティ



用意するもの：

- ワークシート：レッスン5の「この人はどんな人？」（児童1人につき1つ）

小学2～3年生向けの変更点（必要に応じて）：小学2年生または3年生が、ソーシャルメディアで自分がどのように見られるかについて理解できると判断した場合は、視点の数を減らす（保護者、友だち、警察官、10年後の自分などにする）ことを検討し、その後クラスで話し合います。

1. 新しい視点で見る

室内を歩きながら各児童に1から3の数字を割り当て、3つのグループを作ります。グループ1はひろこさん、グループ2はともみさん、グループ3はまさるさんを担当します。教師は、各グループを順番に見て回り、以下に示す役割のうち1つか2つを演じます（リストを参照）。その後、キャラクターの情報に対して教師が役割を演じて反応し、その反応についてキャラクターがどう感じるかをグループで話し合います。

教師は、ワークシートに記載されている各キャラクターについての情報に対して、保護者、警察官、仲間、高校生などがどのように反応するかを演じます（2～3個選んで行うか、グループに希望のキャラクターを尋ねます）。あまり時間をかけず、役割ごとに最長2分で行います。

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| • 保護者 | • コーチ | • 広告主 |
| • 友だち | • 警察官 | • 雇用主 |
| • 10年後の自分 | | |

次ページに続く →

2. グループでの話し合い

5～10分で、キャラクターが行った選択、教師が演じた役割の反応、ひろこさん、ともみさん、まさるさんの視点について、グループごとに話し合います。その後、話し合った内容と、オンラインでのプライバシーに関する選択について学習した内容について、各グループから全員に向けて発表してもらいます。

3. クラスでの話し合い

このアクティビティで重要だと思った点を3つ挙げてください。さまざまな人がオンラインであなたの情報を見たときに、あなたについて正確に推測しましたか。その人たちは、あなたについて良い意見を持ちましたか。悪い意見を持ちましたか。あなたはその人たちの反応に満足しましたか。オンラインでのあなたの投稿内容から、**あなた**に対して悪い意見を持った人がいた場合、どのような結果が生じる可能性があると思いますか。あなたの投稿を見た人が誰なのかわかる場合、あなたが情報をキュレートまたは投稿する方法はどのように変わりますか。

重要なポイント

同じ情報でも、さまざまな人が見ればそれぞれ違う結論になる可能性があります。オンライン上の人たちは、あなたのことをあなたの想定どおりには推測しないと考えておきましょう。

気をつけて共有する：レッスン7

Interland: 用心の山

Interland の山の中にある町では、多くの人が行き交っています。そのため、誰に何を共有するかについて、よく注意する必要があります。情報は非常に速く伝わります。また、インターネット利用者の中には、オーバーシェアラー（情報を過剰に共有する人）もいます。

パソコンかモバイル デバイス（タブレットなど）でウェブブラウザを開き、g.co/MindfulMountain にアクセスしてください。

話し合いのトピック



児童に「用心の山」をプレイしてもらいます。その後、次のような質問をして、ゲームで学んだ内容について詳しく話し合うよう促します。ほとんどの児童は1人でプレイしたほうが効果的に学習できますが、ペアにしてもかまいません。これは低学年の児童に特に効果的でしょう。

- ゲームであなたが共有した投稿のうち、実際にあなたが最も頻繁に共有すると思うのはどのような投稿ですか。それはなぜですか。
- 共有すべきでない情報を誤って共有した可能性があったときのことを説明してください。
- 「用心の山」のキャラクターがオーバーシェアラーと呼ばれているのはなぜだと思いますか。
- オーバーシェアラーの性格と、オーバーシェアラーの行動がゲームに与える影響について説明してください。
- 「用心の山」をプレイしたことで、今後のオンラインでの他の人との情報共有について、あなたの考えは変わりましたか。
- このレッスンでゲームをプレイしたことで、自分の行動はどのように変わると思えますか。1つ挙げてください。
- 友達だけでなく一般にも公開することで、どのような悪影響が考えられますか。例を1つ挙げてください。
- 個人情報を誤って共有した場合、どのような対応を取ることができますか。誰かが誤ってとても個人的な情報をあなたと共有したらどうしますか。